

第9回コプロダクションワークショップ  
エネルギー・物質の併産(コプロダクション)およびエクセルギー再生  
による革新的省エネルギーと次世代産業基盤の構築

主催： 東京大学エネルギー工学連携研究センター  
協賛： 東京大学エネルギー・資源フロンティアセンター(FRCER)  
東京大学先端電力エネルギー・環境技術教育研究センター(APET)  
化学工学会エネルギー部会、日本エネルギー学会、日本機械学会、  
日本化学会、エネルギー・資源学会、日本鉄鋼協会（予定）

日時： 平成22年2月5日(金) 13:00～19:30（受付開始時刻は12:30～）  
場所： 東京大学生産技術研究所コンベンションホール（An棟2階）

趣旨

C02削減が最重要課題となっている。これには単なる省エネルギーや再生可能エネルギーの導入だけでは対応できず、エネルギーと物質の生産システムを根底から見直し、エネルギー消費を大幅に低減させるエネルギーと物質を併産（コプロダクション）するシステムを創生し、産業構造そのものを省エネルギーでかつ多様な価値を生む体系に転換することが必要となる。

これまで、エネルギーカスケード利用に替わる革新的エネルギー利用原理である「エクセルギー再生」の概念を提案し、発電部門、産業部門への適応を検討してきた。特に、この間、熱エネルギーを循環利用する自己熱再生を提案し、予熱システム、乾燥、蒸留、吸収分離など、広範な分野への適用を検討してきた。今回のコプロワークショップでは、これまでの研究成果をとりまとめ報告するとともに、次世代エネルギー・素材産業基盤の構築について議論する。製鉄、化学、紙パ、セメントなど、エネルギー多消費型装置産業にエクセルギー再生・コプロダクションといった革新的な省エネルギー技術を導入することで、大幅なC02削減を実現するとともに、国際競争力の向上を図り、基盤産業として再生させる方策を検討する。

